

令和5年度 周南市立勝間小学校 研究の概要

研究主題

知・徳・体の調和による心豊かな「かつまっ子」の育成
～ 「熊毛学園」構想との一体的な取組の推進 ～

I 令和5年度 研究について

1 研究主題設定について

令和5年度は、学校教育目標を、前年度の学校運営協議会等における協議・承認を経て改訂を図り、この教育目標の実現に向けて各取組を進めてきた。児童の豊かな心を育む学校経営ビジョンの根幹となる学校教育目標の改訂は、教職員の働き方改革にも影響が大きく学校運営のスリム化に向けても避けて通れない作業であり、この研究の成果と課題は、今後の教育構想に大きく関与する。年度末を迎え、この作業に全教職員がどのように取り組んできたかを振り返るとともに、これらの成果と課題をできるだけ継続的な取組につなげていくため、令和6年度に向けた学校経営ビジョンに生かしていきたい。

2 研究主題のとらえ方

(1) 研究の目的

教育の質を高めることと教職員の働き方改革の推進を学校課題の両輪として踏まえながら、効果の高い教育ビジョンの策定を図るとともに、学校教育目標の実現に資すること並びに持続可能な取組につなげていくことをおもな目的としている。この目的を達成するため、できるだけシンプルかつ教育の質を高める方途とめざす子ども像をセットにした学校教育目標とすることとした。これが、研究主題に掲げた本年度の学校教育目標「知・徳・体による心豊かな「かつまっ子」の育成」である。

(2) 研究の背景について

I C T活用、感染症対策、学校地域連携教育・幼保小中校連携教育推進、外国語教育、いじめ・不登校問題、アナフィラキシー対応を含む様々な危機対応、限られた勤務時間・教育予算、教員代替者の不足等教育環境の厳しさが年々増す傾向にある。学校現場における一丁目一番地は、育みたい資質・能力の育成であり、そのための児童と向き合う時間の創出が極めて大きな課題となっている。

(3) 研究副主題及び研究仮説について

熊毛地域7校を巻き込んだ取組への移行、指導内容の「熊毛学園」学校・地域連携カリキュラムへの反映も踏まえ、本校の学校経営ビジョンを実現する方策は、本校の組織づくりから始まる。教職員が主体となって、取り組んでいることを中心に次年度につながる型をつくりたい。

以上について、研究主題及び研究副主題を実現し、様々な課題を解決するためには、本校の教育目的（教育理念・経営理念）の共有や教職員のキャリアと職務の平準化、育みたい資質・能力の育成に向けた授業改善等カリキュラム改善抜きで、前に進むことはできないと考えている。以下、本年度の取組及び成果物を振り返ることとする。

II 研究の実際について

1 学校経営ビジョン

(1) 学校経営ビジョンに盛り込む事項

学校経営ビジョンは、本校の経営ビジョンと重なる国や県、市の方針も示している。また、従前より明示している児童像を、「熊毛学園」の教育理念であるスローガンやめざす子ども像と本校のめざす子ども像とできるだけ関連性を踏まえて重ね合わせ、国として育みたい資質・能力とも合わせて示している。そして、これらを包括した学校教育目標を示し、そのための重点的な取組事項を学校像・児童像・教師像・重点取組事項、熊毛地区小・中学校共通目標、勝間小チャレンジ目標を重要なキーワードで示す。

① 国や県、市の方針

国として育みたい資質・能力「生きる力」の具体を学力の3要素「知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性」で示し、県と市の方針を県教育の基本目標及び市の基本理念という形で示す。

② 15年間でめざす「熊毛学園」の教育理念スローガンと育てたい子ども像

地域愛をメッセージとして込めた「つながろう ふるさと大好き 熊毛っ子」の育成により、「出会いつながりを大切にする子（連携推進部会）」「学びを楽しむ子（学力向上部会）」「みんなのよさを見つける子（豊かな心育成部会）」「自分の体を大切にする子（健やかな身体育成部会）」をめざす取組を国の学習指導要領の教育課程編成の柱と重ねることとした。

③ 学校教育目標

学校がめざす教育目標の根幹は、心豊かな「かつまっ子」の育成にあり、これを知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動によって実現するというメッセージを込め、「知・徳・体の調和による心豊かな「かつまっ子」の育成」とした。

また、「かつまっ子」の「か」は、感謝する子の「か」、かつまの「つ」は、強い子の「つ」、かつまの「ま」は学び合う子の「ま」、さらにこれらの調和を図るという意味から、「熊毛学園」の連携推進部会のめざす「出会いつながりを大切にする子」を「◎なつがりを大切にする⊕」という意味を込めている。

2 特色ある4部会の取組

(1) 「感謝する子」部会の「熊毛学園」でめざす子ども像とその取組




「感謝する子」部会は、「熊毛学園」の「みんなのよさを見つける子」をめざし、児童を中心に以下の活動に取り組んできた。

- | | |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 「かつまっ子カード」（毎週金）の実施 | <input type="checkbox"/> いじめ防止ポスター制作 |
| <input type="checkbox"/> 「あいさつ Week」（年間3回）の実施 | ・「心のあしあと」の共有 |
| ・気持ちのよいあいさつ | ・教育相談の質の向上 |
| ・会釈、遠くから、自分から、心を込めて | <input type="checkbox"/> キャリア・パスポートづくり |
| <input type="checkbox"/> 「ありがとうスポット」の設定 | ・活用と蓄積 |
| ・感謝の気持ちを伝えよう | <input type="checkbox"/> 心地よいふれあいの場づくり |
| <input type="checkbox"/> 児童がつくる児童集会開催 | ・「そろえる」協力 |

これらを支えた教職員等は、生徒指導主任・特活主任・教育相談・安全主任・交通担当・特支 Co、PTAは、生活部、学校運営協議会は、「かつまっ子」育成部長・勝間保育園長・かつま児童クラブ主任である。

(2) 「強い子」部会の「熊毛学園」でめざす子ども像とその取組

「強い子」部会は、「熊毛学園」の「自分の体を大切にする子」をめざし、児童を中心に以下の活動に取り組んだ。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 「グーチョキパー」でよい姿勢（毎朝） | <input type="checkbox"/> 外遊びの奨励 |
| <input type="checkbox"/> 体づくり運動の充実 | ・折り合いの付け方を学ぶ場 |
| ・業間体育や縦割り班での運動 | <input type="checkbox"/> 早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き |
| ・毎朝の「グーチョキパー体操」 | ・熊毛学園での共通取組の継続 |
| ・「ドラえもん体操（柔軟性向上メニュー）」 | ・「元気チャレンジカード」 |
| ・「おうちで運動（ストレッチ）」の宿題 | <input type="checkbox"/> メディアコントロールの充実 |
| <input type="checkbox"/> 感染予防 | ・メディアルールの取組 |
| ・年間を通じた手洗い、換気の実践 | |
| <input type="checkbox"/> 清掃活動 | |
| ・「もくもく掃除」で、だまって、いっしょうけんめい、すみずみまで、きれいに「    そうじ」の取組の実施 | |

これらを支えた教職員等は、保健主任・体育主任・養護教諭・食育担当・清掃担当・特支2組担任・教育環境主任、PTAは、保健部・環境整備部、学校運営協議会は、勝間地区自治会連合会会長・熊毛中学校教頭・勝間地区主任児童委員である。

(3) 「学び合う子」部会の「熊毛学園」でめざす子ども像とその取組

「学び合う子」部会は、「熊毛学園」の「学びを楽しむ子」をめざし、児童を中心に以下の活動に取り組んだ。

- | | | |
|-------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学びポケットの活用 | ・学習のリモート化 | <input type="checkbox"/> 学び合いのある学習活動の場設定 |
| <input type="checkbox"/> 学力向上プランの見直し | | ・iPad や大型モニターの活用 |
| | ・検証改善サイクルの確立 | ・話し合い（ペア学習） |
| | ・やまぐちっ子学習プログラムの活用 | <input type="checkbox"/> 一人一授業の公開の場設定 |
| <input type="checkbox"/> 自主学習強化週間（年間3回）設定 | | ・ユニット型研修 |
| <input type="checkbox"/> 「6つの学習のやくそく」の徹底 | | <input type="checkbox"/> まとめ・振り返りと授業評価の実施 |
| | ・物がまえ（学習用具） | <input type="checkbox"/> 交流学习の推進 |
| | ・心がまえ（チャイム着席） | |

これらを支えた教職員等は、学力向上主任・研修主任・情報主任・司書教諭・英語担当・校外研修・特支1組担任、PTAは、研修部、学校運営協議会は、あおば幼稚園長・熊毛北高等学校教頭、勝間コミュニティ会長である。

(4) 「豊かな心」部会の「熊毛学園」でめざす子ども像とその取組

「豊かな心」部会は、「熊毛学園」の「出会い、つながりを大切にする子」をめざし、児童を中心に以下の活動に取り組んだ。

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> 熊毛学園プロジェクト | <input type="checkbox"/> 自然愛護活動 | |
| ・地域連携カリキュラムの実施 | ・フジバカマ・芝桜・ヒマワリ育生 | |
| ・HPの充実 | <input type="checkbox"/> 動画による交流 | |
| ・地域との関連ページ | ・児童による学校紹介動画作成 | |
| <input type="checkbox"/> 熊毛地区内の学校との交流 | ・音楽祭 | ・リモート型交流学习 |
| <input type="checkbox"/> 地域人材の積極的な活用 | | |
| | ・勝間地区婦人会、遊休農地再生隊によるサツマイモ・米づくり | |
| | ・各種ボランティア人材（生花・諫鼓踊り・虫博士・野菜づくり・木工細工・水泳見守り等） | |

これらを支えた教職員等は、教務主任・教頭・地域担当・事務主査、PTAは、ふれあい活動部 広報部 執行部、学校運営協議会は、CS会長・校長・勝間小PTA会長である。

3 「熊毛学園」学校・地域連携カリキュラムによって、育みたい資質・能力について

「熊毛学園」においては、「つながろう ふるさと大好き 熊毛っ子」をスローガンに、連携推進部会で育みたい子ども像「出会い、つながりを大切にする子」をめざして、学校・地域連携カリキュラムを充実させてきた。

(1) 育みたい資質・能力の明確化に向けて

本年度の夏の「熊毛学園」熟議に向けて、育みたい資質・能力については、これを一層明確化するため、「多様な「人・もの・こと」と豊かに関わる力」とすることを、「熊毛学園」連携推進部会合同研修会において、見出すところから始まった。

夏の熟議においては、小学生を含む子どもと大人が話し合い、「多様な「人・もの・こと」と豊かに関わる力」を身に付けるためには、小学校や中学校、高等学校において、どのように関わることが求められるかについて、熟議を行い、次のようなことが明らかになった。

①積極的な姿勢で（自ら・進んで・一緒に）

どの校種においても、積極的な姿勢で関わるのが大事という気付きが上がる中で、小学生の低学年から進んで関わったり、一緒に関わったりすることがよりよいつながりをつくるために大切ではという一定の方向性を見出した。

②調和を求めて（発信・傾聴・感謝）

調和というキーワードは、中学生以上の子どもから上がった言葉であったが、少なくとも小学生の中学年期からは、仲良く過ごすために、感謝の気持ちや相手の話にしっかり耳を傾けること、困っていることを伝えることなしにうまくやっっていけないという状況を踏まえたものになった。

③リーダー性を発揮しながら（企画力・実行力・コミュニケーション力）

高校生からは、特にこのリーダー性の発揮が示されたが、中学生はもちろん小学生の高学年期においては、発揮してほしいという大人からの願いも踏まえるとともに、実際にやってみるという力につなげてほしいという期待も込められ、このような示し方となった。

④視野を広げていけるように（より総合的に・全体を見通して）

高校生は、社会人となる生徒やより自立に向けた意識が高まることから、少し遠い未来を描いたり、俯瞰的な物の見方を反映したりできるようにというメッセージも込めて、より総合的に・全体を見通して関わることが求められるのではないかとということから、大きな方向性を見出した。

(2) 活動の対象

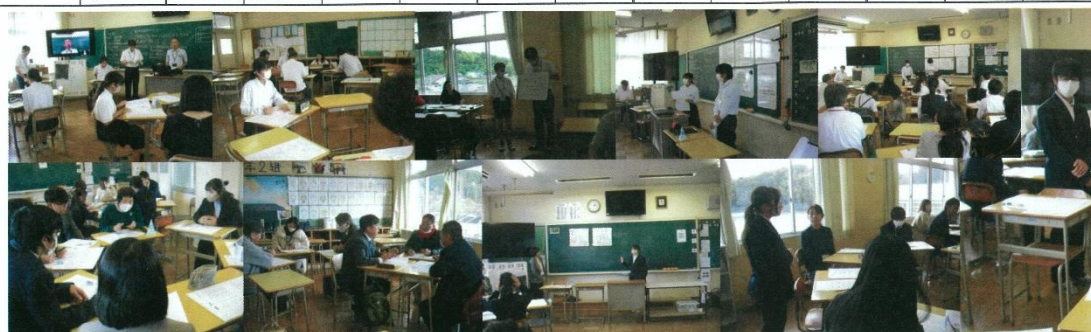
小学生や中学生にとっては、身近な地域学習が現実的であったが、高校生にとっては、地域を超えて、関わり方の幅を広げていけるように、学びの対象を山口県や周南・熊毛などの地域・文化・自然・歴史とした。

くまげ学園 「熊毛学園」学校・地域連携カリキュラム
ふるさとを愛する心を育て、地域の担い手としての意識の高揚を図るための学びの見取り図

育てたい熊毛っ子スローガン **「つながろう ふるさと大好き 熊毛っ子」**
 連携推進部会 めざす児童生徒像 **「出会い、つながりを大切にする子」**

連携推進部会
令和5年 月 日 時点

校種	幼・保		小学校(5校)						熊毛中学校			熊毛北高校		
	年少・年中・年長	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1年生	中2年生	中3年生	高1年生	高2年生	高3年生	
育てたい資質・能力 よりよくなる力	多様な「人・もの・こと」とよりよく関わる力 このような資質・能力を各プログラムを通して育み、様々な「出会い、つながりを大切にする子」													
	感性を発揮して(優しく・いいい) ※(※)													
	積極的な姿勢で(自ら・進んで・一緒に)													
	調和を求めて(発信・傾聴・感謝)													
	リーダー性を発揮しながら(企画力・実行力・コミュニケーション力)													
学びの対象	山口県や周南・熊毛などの地域の伝統・文化・自然・歴史 (様々な「人・もの・こと」との関わりの中で)													
視野を広げていけるように(より総合的に・全体を見通して)														



付けたい力(育みたい資質・能力)について話し合い振り返った令和5年夏と冬の「熟議」の様子の一部から

作成中（研究中）の「熊毛学園」学校・地域連携カリキュラムの一部から

4 次年度に向けて

今年度は、「熊毛学園」構想との一体的な取組の推進のために、学校・地域連携カリキュラムにおいて、子どもに育みたい資質・能力を明確にする試みを「熊毛学園」熟議を中心として、取り組んできた。「熊毛学園」の向かう方向性がより焦点化された中で、学校全体、熊毛地域全体で、これを共有し、全ての大人と子どもで関わるカリキュラムに移行することが大きな課題である。

そのために、次年度は「熊毛学園」熟議に参加する大人や子どもを拡充することが求められる。「熊毛学園」7校の校長の連携を強め、各校区の大人と子どもの参加者増につながる次の一手を探る中、次年度の熟議テーマは、「学びを楽しむ力を発揮するためには、どのような資質・能力が必要か」、学力熟議にシフト・チェンジしていく予定である。

上のカリキュラムに示している幼・保との連携において、各幼稚園や保育園等と共有できるカリキュラムにしたいと考えており、幼少期においては、幼児期ならではの感性を発揮して関わる中で、優しく関わったり、丁寧に関わったりすること大事な視点ではないだろうかという点を情報共有しているところである。次年度のスタート期においては、幼・保を含む小中高連携につなげていける資料としていきたい。